

奈良県「社長年齢」分析調査（2024 年）

社長の平均年齢、60.8 歳

34 年連続の上昇、高齢化止まらず

～「50 歳以上」の社長は全体の 82%～

奈良県の社長平均年齢は、2024 年時点で 60.8 歳であった。社長交代率は 3.26%と低迷するなかで、社長の平均年齢は 34 年連続で上昇しており、高齢化に歯止めがかかっていない。円滑な事業承継に向け早期に準備を行っていく必要があるが、現状は思うように承継が進んでいない。社長が高齢となれば、「不測の事態」が生じる可能性は高まり、企業経営に重大な影響を及ぼしかねない。社長の高齢化リスクが高まるなか、十分な期間を設けた事業承継の実施に向け、周到的な準備が求められている。

【業種別】社長の平均年齢(年推移)

	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2024	対95年比
全体	55.3	56.2	56.9	57.8	58.7	59.9	60.8	+5.5
建設	54.2	55.0	56.0	56.5	57.2	58.9	60.0	+5.8
製造	56.8	57.5	58.2	59.5	60.7	61.3	61.3	+4.5
卸売	55.1	56.6	57.7	59.3	60.1	61.3	62.4	+7.3
小売	54.9	55.7	56.3	57.5	58.1	58.5	59.6	+4.7
運輸・通信	53.4	55.7	55.4	55.4	56.8	58.0	59.2	+5.8
サービス	53.6	54.8	55.7	57.2	58.2	58.7	59.9	+6.3
不動産	56.3	57.8	58.9	58.8	60.5	63.4	63.9	+7.6
その他	59.2	56.2	58.7	58.9	59.0	59.4	59.2	+0.0

奈良県調査結果（要旨）

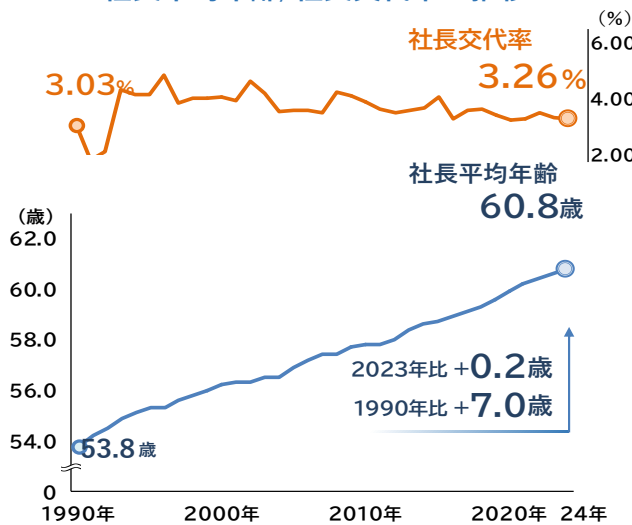
- 2024 年時点の社長の平均年齢は 60.8 歳。前年を 0.2 歳上回り、34 年連続の上昇で過去最高を更新、社長が交代した割合は 3.26%、前年からほぼ横ばいの 3%台。
- 「50 歳以上」の社長は 82%、「40 歳未満」の若手経営者は 2.8%にとどまる。
- 社長交代前後の平均年齢変化は 70.9 歳から 52.4 歳となるものの、後継者の選定や事業承継に遅れがみられている。

■ 本調査では、企業概要ファイル「COSMOS2」（約 148 万社収録）から 2024 年 12 月時点における企業の社長データ（個人、非営利、公益法人等除く）を抽出し、集計・分析した。

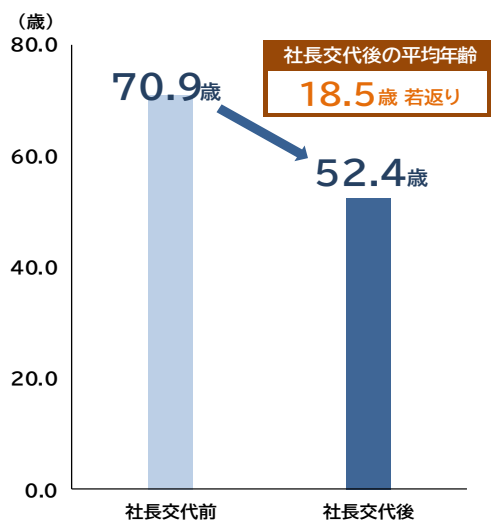
＜社長交代後の平均年齢＞社長交代後でも既に 50 歳超となる

社長交代前後の平均年齢変化は 70.9 歳から 52.4 歳となった。社長交代後には 18.5 歳若返っているが、交代後の年齢が既に 50 歳を超えており、後継者の選定や事業承継に遅れがみられていることが分かる。

（奈良県） 社長平均年齢/社長交代率の推移



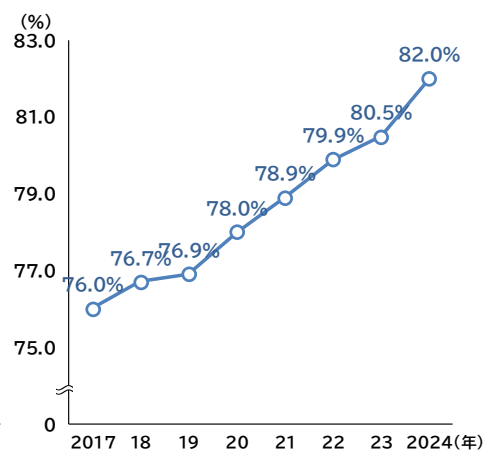
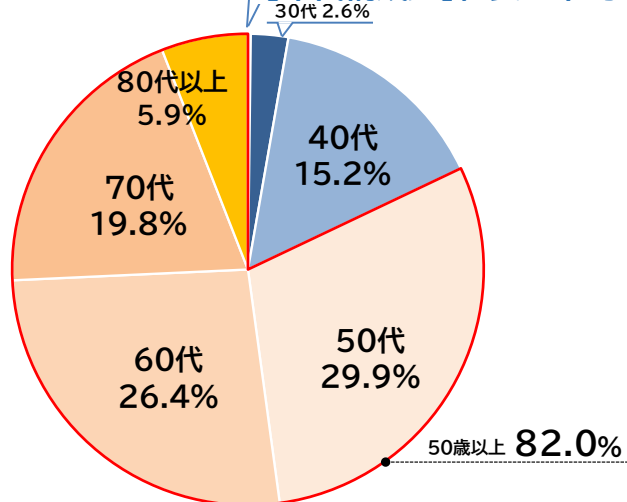
社長交代前後の平均年齢変化



＜年代別構成比＞「50 歳以上」の社長は 82.0%と高水準、若手経営者はわずかにとどまる

2024 年時点における社長の年代別構成比をみると、「50 歳以上」が全体の 8 割以上を占める結果となった。社長が「50 歳以上」の割合は毎年上昇しており、2017 年の 76.0%から 6.0%上昇した。近年はスタートアップや新興企業を中心に若手経営者に注目が集まっているが、「40 歳未満」の若手経営者は 2.8%と 3%に満たない水準であり、経営者の高齢化が進んでいるのが実態である。

【年代構成比】社長の平均年齢と年代構成比



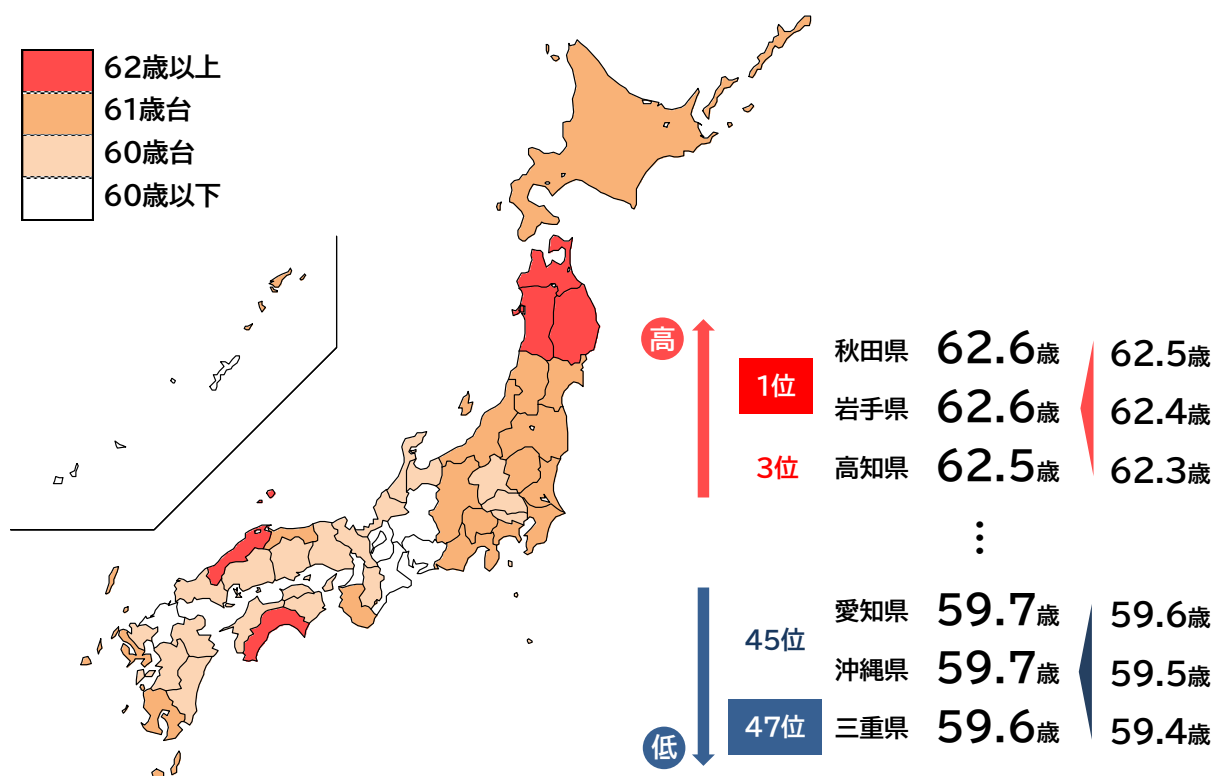
＜都道府県別＞ 都道府県別、秋田県と岩手県が62.6歳でトップ

社長平均年齢を都道府県別でみると、秋田県と岩手県が62.6歳（2023年比+0.1歳（岩手県）、+0.2歳（秋田県））で、最も高かった。次いで、高知県が62.5歳（2023年比+0.2歳）、青森県が62.3歳（同+0.1歳）となった。東北地方の6県がすべて全国平均（60.7歳）を上回っており、社長の高齢化が顕著であった。

一方で、平均年齢が最も低かったのは三重県の59.6歳で、8年連続で最も低かった。その他、愛知県や沖縄県（いずれも59.7歳）など、60歳を下回ったのは7府県だった。総じて、都道府県別の社長平均年齢は「東高西低」の傾向が強い。

なお、47都道府県の中で社長平均年齢が前年から低下したのは、熊本県（60.1歳、同-0.1歳）と大分県（60.3歳、同-0.1歳）の2県のみだった。

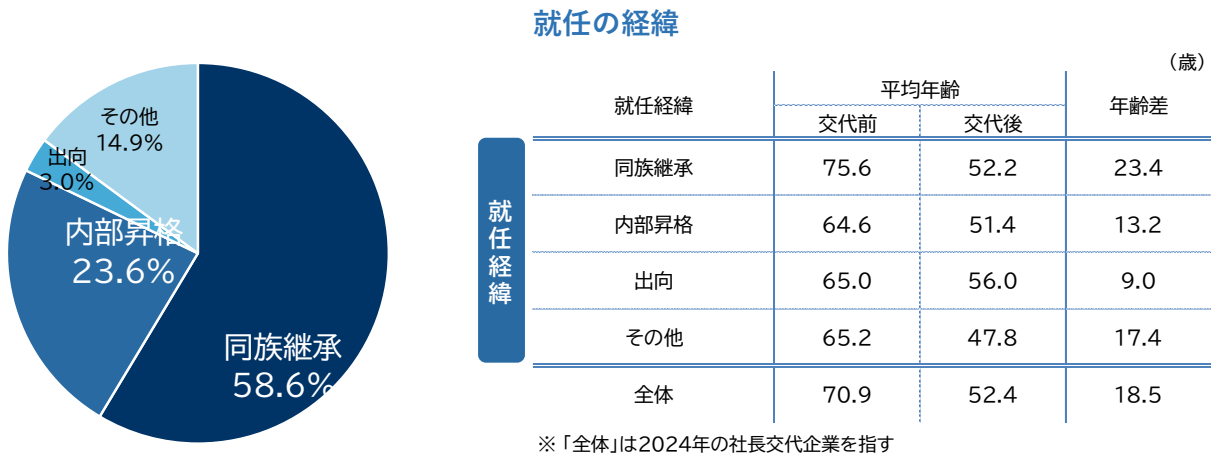
都道府県別 社長平均年齢



＜就任経緯＞ 同族承継と内部昇格が多くを占める

交代した社長の就任経緯を分析すると、「同族承継」が 58.6%で最も高く、次いで「内部昇格」が 23.6%となった。奈良県の就任経緯は「同族承継」が圧倒的となっている。

就任経緯別に社長交代前後の平均年齢をみると、「同族承継」が後退前の平均年齢では 75.6 歳で最も高く、「内部昇格」が 64.6 歳で最も低かった。交代後では「出向」が 56.0 歳で最も高かった。交代前と交代後の年齢差でみると、「同族承継」が 23.4 歳で最も開きが大きく、若返りが大幅に進んでいる。



株式会社帝国データバンク 奈良支店

【問い合わせ先】 上田 知昇 TEL:0742-26-3231

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。